

日 時	タイトル名	場所・座席	料 金	チケット 発売場所	未就 学児
7/7 (土) 開演 15:00 (開場 14:30)	DMG MORI やまと郡山城ホール 歌声喫茶 ～心に残るあなたの思い出～	大ホール 全席自由	500 円	発売中 [ホ][口][E+] ※会場内では 飲食できません	×
昔懐かしい歌声喫茶を大ホールに再現。思い出の歌を客席のみなさんと大合唱しましょう。 出演: 案内人(第1部) 大原 末子、岸 俊昭(第2部) 重竹 宣恵					
7/14 (土) 開演 14:00 (開場 13:30)	奈良フィルサロンコンサート 音楽の土曜日 vol.158 ～混声♪今昔♪アラカルト～	レセプションホール 全席自由	2,000 円 (ワンドリンク付)	発売中 [ホ]	×
出演: 大原 末子(ソプラノ)、田内 愛(メゾソプラノ)、岡本 雄一(テノール)、今泉 仁志(バリトン)、松下 寛子(ピアノ) 曲目: 水戸黄門のテーマ、銭形平次、宇宙戦艦ヤマトメドレー、アナ雪メドレー、翼をください、ふるさとの四季 ほか					
7/21 (土) 開演 13:00 (開場 12:30)	第13回 青少年吹奏楽コンサート	大ホール 全席自由	入場無料		○
市内の5中学と郡山高校、法隆寺国際高校が出演。ダイナミックで多彩な演奏をお楽しみください。					
7/27 (金) 開演 19:00 (開場 18:30)	金曜トークサロン Vol.38 ～会いたい・知りたい・つながりたい～ 「アフリカへの愛」～ミラクルツリー・モリンガの木～	レセプションホール 全席自由	1,000 円 (コーヒー・紅茶付)	発売中 [ホ]	×
ゲスト: 藤井 千江美(モリンガの郷代表、NPO法人 HANDS(Health and Development Service) 理事、看護師/看護専門学校非常勤講師) 聞き手: 松本 真理子(マリンバ奏者、大和郡山市音楽芸術協会特別顧問、DMG MORI やまと郡山城ホールアドバイザー)					
8/2 (木) 〈午前の部〉 開演 10:00 (開場 9:30) 〈午後の部〉 開演 14:00 (開場 13:30)	懐かしの映画会 ～懐かしの優れた映画を観ましょう～ 〈午前の部〉喜びも悲しみも幾歳月 〈午後の部〉二十四の瞳 【特別協賛: 木下グループ】	大ホール 全席自由	500 円 (各部入替制)	7/5 (木) 10:00 ~ 発売 (電話予約は 13:00 ~) [ホ]	×
・喜びも悲しみも幾歳月 (1957年 木下 恵介 松竹 159分) 出演: 高峰 秀子、佐田 啓二、中村 賀津雄 ほか ・二十四の瞳 (1954年 木下 恵介 松竹 155分) 出演: 高峰 秀子、月丘 夢路、小林 トシ子 ほか					

※チケット欄の記号=発売場所 [ホ]:DMG MORI やまと郡山城ホール窓口 [ピ]:チケットぴあ [ロ]:ローソンチケット [E+]:イープラス

ホール内レストラン



「カステッロ」

7月1日(日)から8月31日(金)までの期間、9時から21時(オーダーストップ20時)まで営業します。

また、期間中は15時からピアホールとしてもご利用いただけます。

(DMG MORI やまと郡山城ホール休館日は休業)

問合せ = ☎ 55-5586



市長てくてく城下町 166

『全村あげての「祝賀デー」』

大和郡長 上田 清

先日、ある市民の方から古い新聞記事のコピーを見せていただきました(大阪朝日新聞)。

表題には～近く開通する『大和小泉駅』開通式と三日間の祝賀～とあります。

大和小泉駅の開通は大正9(1920)年8月25日。

大阪鉄道の奈良一王寺間の開通により、明治23(1890)年郡山駅が営業を開始してからすでに30年もの歳月が過ぎていました。

記事によれば小泉駅の新設を求める動きは明治44年、片桐村長を中心とする請願に始まりますが、却下が繰り返されるなか、村戸賢徳片桐村長の時代になってようやく理解が広がり、大正9年の営業開始を迎えることができたのだそうです。

8月25日は午前10時から新設駅構内で開通式が行われましたが、「開通当日より三日間は全村業を休み祝賀デーを催すべく相撲、喜劇、煙火其他の余興行はる

べし」(同上記事より)とあり、当時の人々にとっては世紀の一大事だったのではないのでしょうか。

村戸村長は「色々苦心したことであった」が、新駅は「生駒郡における物資集散の中心となり」「小泉の庚申、慈光院、松尾寺、矢田寺、其他名所旧跡を訪なふ者の為多大な便益」「地方開発上資する処」は「甚大」という談話を寄せています。

当時の面影は失われてしまいました。

しかし先人の熱意と苦労があって今があることを、この駅に限らず、忘れてはならないとあらためて感じているところです。

ちなみに2年後の2020年、大和小泉駅は開業100年、郡山駅は130年ということに。しかも同年は、松尾寺を創建した舎人親王らによる『日本書紀』の完成から1300年。そして第60回お城まつり。

東京オリンピックの年に、さまざまな物語がつながっていくような気がします。